



# SSTL 虹のかけはし

— 私たちからあなたへ —

No. 76

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会  
〒333-0851 川口市芝新町15-9  
アステール藤野 1階  
編集人：社会福祉法人 川越にじの会  
障害者支援施設 にじの家  
理事長 菊池 崇臣  
〒350-0002 川越市古谷本郷992番地  
TEL049-236-0666 FAX049-236-0665  
http://k-nijinokai.com/  
E-mail: nijii@k-nijinokai.com  
郵便振替口座番号 00180-5-657610  
◎購読料 1部100円

## 新年度に向けて

かつてない危機の中で  
思ふこと

理事長 菊池 崇臣

朝夕の報道では、日を追うごとに感染者数が増えていく新型コロナウイルスに関するニュースが取り上げられ、コメントターの専門家による我が国の対策への危機感が繰り返して報じられると不安を覚えない国民は誰一人いないと思います。正直なところ、今思えばぞつとします。3月上旬くらいまでは、私自身もどこかまだ遠い対岸の火事のように考えておりました。それが3月中旬以降、有名人が罹患し始め、ある有名人が新型コロナウイルスによる肺炎で亡くなってしまったことが報道されて以降、国内の情勢も一気に変わったように思います。私自身も目に見えない脅威がすぐ傍まで近づいてきていると恐怖を感じ始めたのもこの頃でした。それとほぼ同時期に、千葉県にある障害者支援施設で大規模なクラスターが発生してしまつたという報道もあり、当法人でも緊急で法人内経営会議を開催し、その日まで実施してきた感染症

予防対策を抜本的に見直し、フェーズも一段階上げて対策を実施していくこととなりました。(施設における具体的な対策の一部は施設長の高橋の寄稿に記載がありますので省きます)もちろん、どんなに対策を講じても100%万全とは言えません。スタッフは通勤のために自宅と職場を行き来するわけですし、既に感染して無症状である可能性もあります。目に見えないウイルスというものを相手にしているため、致し方ないことではあります。万が一、当法人内の事業所で感染者が発生してしまつても私共スタッフは職務を投げ出すわけにはいきません。自らが感染のリスクにさらされながらも、強い使命感で治療の最前線に立っている医療従事者の方々と同じように、我々も現場に立ち続ける責務があります。そんな危機的状況下に陥らないためにも当法人に関わるすべての人が今できる最大の予防対策に努めていくことが必要であると考えております。

そのようなかつてない危機の中ではございますが、今年度も事業の安定運営に努めてまいります。今年度は新規で立ち上げ

る事業は予定されておりませんが、既存の生活介護事業の入所利用者と通所利用者の活動場所と日課の分離を予定しております。それぞれのライフスタイルに合った支援と日課を再構築してまいりたいと思います。

今年度も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年度に向けてご挨拶

施設長 高橋 潤

今回の原稿を依頼された時には、今までの例のない、新型コロナウイルス感染症拡大により、政府より緊急事態宣言も出され、利用者様・職員の感染防止策に追われておりました。新型コロナウイルスに関して、既に障害者支援施設でクラスター感染の情報が出ている中で、あつと

いう間に広がる危険性やその毒性も他の感染症よりも強いこともあり、施設内で感染をさせないための防止策について、3月下旬から4月上旬にかけて、県内の他法人とも情報交換をしながら、当法人の感染防止策を決めてきました。その内容としては、極力、外部の方の接触を



避けて感染リスクをさける施策として、施設への第三者への立ち入り制限、利用者様の外出・外泊等の制限や、職員にも不要不急の外出の制限をお願いするなどの対応をしております。

これも利用者様やそのサポートをする職員の方々を守るための厳しい措置ではありますが、関係者の皆様方にはご理解の程よろしく申し上げます。

さて、ここで今年度の当施設の入職者についてお話をさせていただきます。採用については法人一括採用ではありませんが、今春に入職された支援課では新たに5人の職員を迎えてスタートすることになりました。

今年度は福祉業界以外の異業種や大学からの入職者が多いというのが特徴であります。異業種で活躍されてきた方は、福祉などの専門知識は少ないかもしれませんが、それぞれの業種で学んできたことは、決して無駄ではなく、その経験がどこか役に立ち、何より、未経験で障害福祉分野に興味を持って働きたいという意思を強く持っている職員です。今後の活躍に期待したいと思っております。

前述に述べました通り、今年度は異例のスタートとなり、支



援課職員にとって感染症対策や制限のある対応の中で利用者様が施設での生活がより楽しめる工夫を考えていくことが求められます。そのような中で、逆に施設職員が支援者として一丸にまとまっていくような機会になるのではないかと思っています。最後に取り留めのない文章になつてしまいましたが、関係者の皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## 令和2年度 社会福祉法人川越にじの会事業計画

### 【今年度の事業推進方針】

我が国においては、人口の減少や急速な高齢化、地域社会の脆弱化などといった日本社会が抱える諸課題の中で多様化・複雑化する福祉ニーズの主たる担い手として、我々社会福祉法人に期待される役割はますます大きくなると同時に、国民の目も年々厳しくなつてきています。このような状況のなか、当法人も国民や地域に期待される社会福祉法人として使命を果たしていけるよう努めていかなければなりません。そのためには、経営層がその使命を実現させるべく経営体制の一層の充実を図ることはもちろんですが、経営層以外の法人職員も国民や地域が当法人のような社会福祉法人に期待されている役割を正確に理解し、法人職員が一丸となつて取り組んでいく姿勢が求められるものと考えます。真に当法人が地域や国民から“期待される社会福祉法人”になつていくことと同時に既存事業の効率化とより質の高いサービスを提供していくために、今年度は入所及び通所利用者の日中活動の分離、人材確保と定着のための取り組み、地元自治会との協働、働き甲斐のある職場づくりといった点に注力し事業運営を進めてまいります。

## 令和2年度 収支予算書

社会福祉法人川越にじの会 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
経常経費寄付金収入	200,000	人件費	500,000
雑収入	360,000	事業費	360,000
拠点区分間繰入金収入	1,000,000	事務費	35,000
<b>経常収入計</b>	<b>1,560,000</b>	<b>経常支出計</b>	<b>895,000</b>
		(予備費)	665,000
<b>収入合計</b>	<b>1,560,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>1,560,000</b>

障害者支援施設にじの家 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
介護給付費収入	297,600,000	人件費支出	223,328,000
特定障害者特定給付費	4,500,000	事業費支出	39,837,000
障害児施設給付費	4,400,000	事務費支出	22,033,000
利用者負担金収入	21,820,000	利用者等外給食費支出	2,000,000
その他事業収入	1,108,000	拠点区分間繰入金支出	28,500,000
経常経費寄付金収入	600,000	サービス区分繰入金支出	10,000,000
雑収入	3,800,000	<b>経常支出計</b>	<b>325,698,000</b>
サービス区分繰入金収入	10,000,000	固定資産取得支出	8,200,000
<b>経常収入計</b>	<b>343,828,000</b>	(予備費)	9,930,000
<b>収入合計</b>	<b>343,828,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>343,828,000</b>

相談支援事業 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
サービス利用計画作成費収入	5,660,000	人件費支出	17,670,000
その他事業収入	6,086,000	事業費支出	534,000
雑収入	200,000	事務費支出	1,455,000
拠点区分間繰入金収入	8,500,000	<b>経常支出計</b>	<b>19,659,000</b>
<b>経常収入計</b>	<b>20,446,000</b>	固定資産取得支出	200,000
		(予備費)	587,000
<b>収入合計</b>	<b>20,446,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>20,446,000</b>

グループホーム 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
訓練等給付費収入	13,620,000	人件費支出	30,010,000
特定障害者特定給付費	480,000	事業費支出	3,135,000
特定費用収入	2,300,000	事務費支出	1,110,000
その他の事業収入	20,000	<b>経常支出計</b>	<b>34,255,000</b>
拠点区分間繰入金収入	19,000,000	固定資産取得支出	310,000
<b>経常収入計</b>	<b>35,420,000</b>	(予備費)	855,000
<b>収入合計</b>	<b>35,420,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>35,420,000</b>

# 新しく職員が加わりました

新年度を迎え、にじの家にも新しい仲間が増えました。  
早く仕事にも慣れて利用者の方一人ひとりであった支援をしていきます。  
一年間よろしくお願ひします。

### 紹介の項目

- ① 所属棟と名前
- ② 好きな言葉
- ③ 趣味・特技
- ④ 自分が動物だったら

☆ 新人職員から皆さんへ

※以降は番号で内容を掲載します。



① A棟支援員

田代 ひろみ

- ② ありがとう
- ③ 車・旅行
- ④ くじら

☆

今年度よりA棟配属となりました。田代ひろみと申します。ブランクがありますが、利用者様一人一人の笑顔を引き出せるような支援を行っていききたいと思ひます。  
今後もしよくお願い致します。

① B棟支援員

菊池 将太

- ② 「構造をよく観ろ！」
- ③ 車・卓球
- ④ リス

☆

前職は車が好きで自動車ディラーで七年程メカニックをしていました。入職してから日が経ちましたが毎日充実しています。

皆様と共に成長していきたいと思ひます。何卒、宜しくお願ひ致します。



① C棟支援員

竹内 淳司

- ② 継続は力なり
- ③ ドライブ・ゲーム全般
- ④ 牛(食後に寝てしまうので)

☆

この度、にじの家の支援員として入職いたしました竹内と申します。

今までの勤め先は福祉とは全く別の業種でしたが、二十年以上の社会経験を基に利用者の皆様が楽しく過ごせるよう努力していきたいと思ひます。



① D棟支援員

柿崎 浩平

- ② 楽しい
- ③ 作曲・ギター
- ④ イノシシ

☆

今年度からD棟所属になりました柿崎浩平です。

利用者の方々が安心して過ごせる空間を提供します。自分自身に対する当たり前の基準を高く設け、日々精進して参りますので、何卒宜しくお願ひ致します。



今号までにお世話になった  
方々を紹介します

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《散髪》

関口留美子・横山 晃・鶴見修・鶴見貞哉

《棟・作業》

谷平秀子

《作業でご協力頂いた企業》

川越アトシ 福祉の店・高階市民センター内福祉喫茶 茶房ひととき・南古谷大樹作業所・春陽苑・(株)ソーラ・角田屋酒店・三陽工業・立原電機(株)・泉名本店・虎屋商事(株)・(有)加藤工業・(株)日武設備・(株)伸栄製作所・金子商店・日本サツシガラス(株)・常盤工業(株)・ポプラの樹・(株)富士薬品・鈴木酒店・グリーンロジテック(株)・埼玉精機(株)川越工場・みつばち作業所

にじの家の生活や、

行事におきましては、

大変お世話になりました。

心より御礼申し上げます。



皆様からの

ご支援に感謝して



二〇二〇年一月一日から二〇二〇年三月三十一日まで

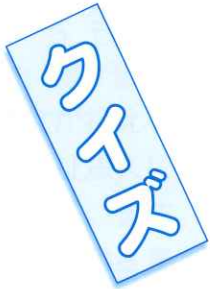
「川越にじの家」にご寄付いただいた方々のお名前を掲載いたします。なお、紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《一般寄付者》

野本 和幸



『見つけてみよう 間違い探し!』



— 写真を見比べていくつ違いがあるかな? —



答え:  
メガネ、服、両手のポーズ

編集後記

新年度になり、広報担当のメンバーが新しくなりました。今回の号では、広報担当経験者と新人職員が広報誌作成において相談や確認をしい、完成することが出来ました。また、今回の三面については、今後、にじの家を背負っていく新任職員の紹介を掲載しました。一人ひとりの意気込みを是非読んで感じてもらえればと思います。また、四面については「間違い探しゲーム」の内容を掲載しました。コロナウイルスの影響で普段通りの生活が出来ませんが、少しでも楽しんでもらえたら幸いです。今号も完読して頂きありがとうございます。

【広報担当】

日隈 聡・時田 由依  
樋口 春菜・小林 果鈴  
赤井 直人・竹内 淳司

